

## 「身勝手な古い政治を終わらせ、新しい時代の政治を創る」

### 伊藤まさしが提案する4大改革

#### 1 裏金作りをさせない。政治資金パーティー等は禁止。

**議員特権の可視化、議員定数の大幅な削減**  
企業献金などの廃止、旧文通費の領収書即公開とともに、国会の常議を民間の常議に変える。伊藤まさしは予防医療の専門家

#### 2 社会保障の抜本改革と予防医療推進。

**制度改革とともに予防医療を重点的に推進**  
予防医療の推進で元気な高齢者を増やします。家族の介護負担も減り、お金・時間・心身の3つの負担が一気に軽減されます。

#### 3 大型減税から始めて、経済成長を図る。

**成長のための減税と規制改革**  
消費税・所得税・法人税の「フロー大減税」を断行し、個人消費と企業投資を促進して経済成長を加速させます。50年上昇し続けている国民負担率をここで止める。

#### 4 教育無償化で次世代を育てる。

**所得制限のない完全無償化を実現**  
幼児から大学まで、教育の全無償化及びそれを通じた教育の質の向上と教育機関の創出を目指します。少子化社会を乗り越えるべく次世代の人材をしっかりと育てる。


自民党の裏金問題、民間であれば明らかな犯罪です。立憲民主党は、法律改正しない限り政治資金パーティーを再開しようとしています。永田町の常議は、民間の非常識です。私は個人事業主として学習塾を経営してきた民間感覚と、ZOZOやポラテアなどの地域活動経験を生かし、政治に不信感を抱き続けてきた国民の皆様に伝えるべく、国民の常識をもって永田町に乗り込みます。また、国会審議に全力を尽くすとともに、地域課題において活動の見える国会議員として働くことを誓います。30年上がらない国民所得、50年上がらぬ増税の税金や社会保険料といった国民負担率。さらに物価高も続く今、なぜ与党は増税し続けるのでしょうか。このまま与党が過半数を割らない限り、国の借金などを理由に、増税が続くことは間違いありません。

そもそも自国通貨に近い「円」を持つ日本は、国の借金イコール国民の借金ではありません。よって、国の借金を理由に増税というロジックは成り立たないのです。また、なぜ貸借対照表などで物事を考えないのでしょうか。今の令和4年経常収支は10兆円を超える黒字、さらに令和5年は25兆3,390億円という過去最高の黒字となっています。それなのになぜ増税の必要があるのでしょうか。まずは減税の一択！そこから始めて、日本経済を復活させていくべきです。

今回の解散時期のように、総理になる前と後で真逆の発言をする石破内閣に、「守る」公約が守られるわけがありません。選挙ではどこも聞こえのいい美辞麗句を並び立てますが、結局、自民党はもちろんだ、立憲民主党も増税路線です。日本維新の会は、公約に消費税・所得税・法人税の大型「フロー」減税を掲げました。みなさん、ここで与党の過半数割れを達成して、まずは減税から始めましょう。日本維新の会に、そして伊藤まさしにあなたの一票を託してください。これから身を切る改革で、議員所得を減らし、国民所得を増やしていきます。これから三重3区から、古い政治を終わらせましょう。

民間人代表 伊藤昌志

# 維新で一新！ まずは減税！



**日本維新の会**  
**伊藤まさし**

平日は早朝より挨拶活動しています。活動の様子はFacebookで配信  
経歴  
1970年 1月17日生まれ(54歳)  
1985年 四日市市立羽津中学校卒業  
1988年 四日市高等学校卒業  
1992年 順天堂大学体育学部 健康学科卒業  
2024年 三重大大学院人文社会科学部 科学研究科 修士課程修了  
元実業団陸上競技選手(八千代工業)  
元いなべ市市協働員(いなべ市出向)  
元全日本大学駅伝出場チームヘッドコーチ(四日市大学)  
美し国駅伝四日市市初優勝時監督  
桑名市「桑名いきいき体操」監修  
川越町健康講座10年間開催  
ほか、各種講演・講師多数  
元四日市市議会議員  
学習塾経営28年  
(特)四日市ウェルネスクラブ顧問

## 石原まさたか 6つの政策

- 1 国民生活の向上**
  - ◆物価高対策
  - ◆きめ細やかな子育て支援
  - ◆医療、介護、保育等の分野の人材確保と処遇改善
- 2 地方創生**
  - ◆公共交通体系の充実
  - ◆第一次産業の振興
  - ◆郵便局ネットワークの強化
- 3 経済活性化**
  - ◆中小企業、小規模事業者への総合的支援
  - ◆地域資源を活用した観光振興
  - ◆資源循環型社会の推進
- 4 国土強靭化**
  - ◆人流、物流の円滑化のための道路ネットワークの充実
  - ◆防災減災のための河川及び海岸の整備
  - ◆エネルギーや物流拠点としての港湾整備
- 5 生産性の向上**
  - ◆物流業界の課題解決
  - ◆建設関連産業のデジタル化の推進
  - ◆行政のデジタル化の推進
- 6 外交、安全保障**
  - ◆同盟国及び友好国との連携による外交の推進
  - ◆経済安全保障の強化
  - ◆サイバーセキュリティの強化



**自民党**  
自民党公認  
公明党推薦  
**石原まさたか**  
いしはら  
52歳

**主な所属**

- 議院運営委員会
- 財務金融委員会
- 環境委員会
- 災害対策特別委員会
- 政治倫理審査会

**主な党役職・その他役職**

- 総務会 総務
- 国会対策委員 陪席
- 中小企業・小規模事業者政策調査会 幹事
- 物流調査会 幹事
- 観光立国調査会 幹事
- 整備新幹線等鉄道調査会
- 「地域鉄道のあり方に関するPT」物流調査会 幹事
- 住宅土地・都市政策調査会 事務局長
- 建設関連産業DX化議連 事務局長
- 海苔養殖推進議連 事務局長
- 中日ドラゴンズ応援議連 事務局長
- 菟野町土地改良区 理事長
- ◆ いなべ市レスリング協会 会長

**プロフィール**  
1987年 菟野町立菟野中学校卒業  
1990年 三重県立四日市南高校卒業  
1995年 名古屋大学卒業  
その後同大学院博士課程へ進学  
2003年 三重県議会議員選挙31歳で初当選(1期)  
2007年 菟野町長選挙35歳で初当選  
当時の最年少町長(3期12年間)  
2021年 衆議院議員総選挙比例代表  
(東海ブロック)49歳で初当選  
趣味・特技  
ジョギング/俳句/家庭菜園

## 行動と実現 地域の力を政治の力に

## 政権交代こそ、最大の政治改革 立憲民主党の7つの約束

- 1 政治改革** 政治の信頼回復
  - 政治資金を徹底的に透明化し裏金・脱税を許しません
  - 金権政治の温床となる企業・団体献金を禁止
  - 国会議員の政治資金の世襲を制限
  - 税金の使い方を徹底的に透明化、効率化
- 2 物価経済対策** 分厚い中間層の復活、家計・賃上げ支援
  - 「人への投資」と最低賃金1500円以上で賃金を底上げ
  - 中小企業が賃上げしやすい環境を整備
  - 自然エネルギー、デジタル産業に重点投資
- 3 外交安保** 安定した外交・安全保障戦略
  - 日米同盟を軸とし、アジア太平洋地域との連携強化
  - 気候変動対策や人権を重視した外交を展開
- 4 社会保障** 超高齢社会に対応した確かな年金・医療・介護・福祉
  - 紙の健康保険証を残す
  - 保育・介護・福祉で働く人の賃金を上げる
- 5 子育て教育** 未来を育む子育て・教育
  - 給食費、高校・専門学校・大学を無償化
  - 奨学金の返済を支援
- 6 地域再生** 地方と農林水産業の再興
  - 新たな直接支払制度で食料自給率を向上
  - 地方回帰の加速と、災害に強いまちづくり
- 7 共生社会** 多様性を認め合える当たり前の社会
  - 選択的夫婦別姓制度を実現
  - ジェンダー平等を着実に推進

物価高騰の中、賃金が物価の上昇を上回る状況を確認することが当面の最大の課題。中期的には所得格差を是正し再分配することで、消費拡大を通じた着実な経済成長を実現します。

本格的な政治改革は、自民党では不可能。政策活動費の廃止、旧文書通信交通費の公開、政治資金の透明化などの課題を徹底して前に進め、国民の政治に対する信頼を取り戻します。

石破総理は総裁選挙の発言を翻して、予算委員会審議もなく衆議院解散。国民に対する説明責任を放棄しています。

政権交代こそ最大の政治改革。日本の政治を変えるために、岡田かつやに對する力強いご支援をお願いいたします。



**立憲民主党**  
**岡田かつや**

**あなたを変え、政治を変える、あなたの決断。**

[プロフィール]  
1953年四日市市生まれ。東大法学部卒業後、旧通商産業省入省。90年衆議院議員初当選。当選11回。「政権交代可能な政治の実現」という信念を貫く。民主党政権では外相、与党幹事長、副総理を務める。民主党代表(2回)・幹事長(3回)。2022年から2024年まで立憲民主党幹事長。

# 第50回衆議院議員総選挙 第26回最高裁判所裁判官国民審査

## 投票日は10月27日(日)

### 投票の方法

**小選挙区選挙** は **候補者氏名** を記入します。

**比例代表選挙** は **政党等名** を記入します。

**最高裁判所裁判官国民審査** は

やめさせたいと思う裁判官には上の欄に×を記入します。  
やめさせなくてよいと思う裁判官には何も記入しません。

**【期日前投票】 10月26日(土)まで**

※投票日当日に投票できない方は、期日前投票制度の積極的なご利用をお願いします。

「日本の、あしたを想う。その気持ちを、一票に。」

三重県選挙管理委員会マスコットキャラクター



いっぴよん

三重県選挙管理委員会

※障がいなどで自書することができない方には係員が代筆する「代理投票」、視覚に障がいのある方には「点字投票」の制度があります。希望される方は、投票所で係員にお申し出ください。

※選挙公報は、音訳版・点訳版も作成しています。必要な方は、県選挙管理委員会又は市町選挙管理委員会までお問い合わせください。

※投票所へは、介護をする方等と一緒に入ることができます。

※投票所入場券が届いていない場合や紛失した場合でも、選挙人名簿に登録され、選挙権がある場合は、投票できます。詳しくは、市町選挙管理委員会までお問い合わせ下さい。

選挙管理委員会連絡先一覧

